

目的

- (1) 各界から先行する取組を共有し、更なる取組に弾みをつける場、多様なセクターの協働を促進していく場の提供。
- (2) G7や国連等における国際的な議論を紹介し、国際的な動向の国内への導入及び日本の取組の海外展開を検討。
- (3) 会議の内容を環境省ウェブサイトにて紹介し、また国際的な場で発信、他の国／主体の取組を後押し。



概要

- ステークホルダーズ・ミーティングを2016年度より開始。毎年3回程度開催。これまでに6回開催し、主にビジネス、メディア、市民社会等からも計1,000名以上が参加。
- 国際機関や政府の取組の最新動向、SDGs指標策定プロセス等を共有
- 他の多くのゴールにも関連する「持続可能な消費と生産」と企業による本業を通じたSDGs達成への貢献に焦点をあて、国際的にも評価されている企業の先行事例や、地域の先駆的な取組を紹介。

検討テーマ（案）

◆ 環境課題と社会・経済的課題の同時解決の実践

<第7回>

- 日本発の脱炭素化・SDGs構想を実現する地域の実践的な取り組み（地域循環共生圏）

<第8回>

- 海洋プラスチックごみと持続可能な消費と生産

<第9回>

- 生物多様性（自然資本と投資家）

開催予定

<スケジュール>

- 第7回：12月11日、第8回：1月、第9回：2月

SDGsステークホルダーズ・ミーティングの目的と進め方：構成員

構成員

有馬 利男	一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン代表理事
福田 加奈子	住友化学株式会社CSR推進部長
関 正雄	損害保険ジャパン日本興亜株式会社CSR室シニア アドバイザー 明治大学経営学部特任准教授
鎌田 長明	公益社団法人 日本青年会議所 2019年度会頭
星野 智子	地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）運営委員
藺田 綾子	株式会社クlean代表取締役社長
藤田 香	株式会社日経BP社 日経ESG編集シニアエディター & 日経ESG経営フォーラムプロデューサー 富山大学客員教授
川廷 昌弘	株式会社博報堂広報室CSRグループ推進担当部長
小田 亜紀子	独立行政法人国際協力機構（JICA）企画部 参事役
竹本 和彦	国連大学サステナビリティ高等研究所所長
蟹江 憲史	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
田崎 智宏	国立研究開発法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター 循環型社会システム研究室室長
薬師寺 えり子	横浜市温暖化対策統括本部本部長
遠藤 健太郎	内閣府地方創生推進事務局参事官
甲木 浩太郎	外務省国際協力局地球規模課題総括課長
福島 健彦	環境省地球環境局国際連携課長
三好 信俊	公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）専務理事（ファシリテーター）